「実体験を通じて物事の本質に気づく機会」を提供(※) ※学長メッセージ (https://www.kogakuin.ac.jp/faculty/edu/message_u.html)

工学院大学では、学生が関わるあらゆる活動を「成長の機会」と捉え、「キャリア支援」「学生活動支援」「学部・学科・研究室」「就職支援」の各セクションが連携し、 参角的・体系的に人材育成に取り組み、学生の『無限の可能性が開花する』(教育理念)を支援しています。

就職支援センター

インターンシップやキャリア・就職関連プログラムの提供、個人面談などを通し、大学生活で得た学生の知識や技術、 資質や特性を就職へとつなげます。



キャリアデザインセンター

インターンシップやキャリア関連科目の検証と分析を行い、それらを研究力や就職力につなげ、学生たちが専門性+aの武器を身につけるための新たな教育カリキュラムの検討を行います。



実社会で活かせる専門分野における 知識・技術の修得 実践を通した人間的な成長 (=社会人基礎力の向上)



教員等

教員による最先端の研究をもとに 教育を行います。専門分野における基礎的な力、高度な知識や技術を習得させるだけでなく、社会 人基礎力の向上に資する授業展開や研究室運営を行います。

学生支援課等

「学生プロジェクト」や「科学教室」、「クラブ・サークル活動」など、学生が主体となって活動する機会を支援。実体験を通した学生の成長を促します。

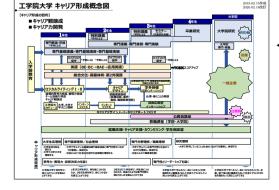
※「工学院大学 キャリア形成概念図」(教育体系化) ⇒

工学院大学

<お問い合わせ先>

キャリアデザインセンター所長 二上武生 (nikami takeo) (教育推進機構国際キャリア科教授)

E-mail: nikami@cc.kogakuin.ac.jp



学生の成長を支援し、社会へとつなぐ 工学院大学10の主な取り組み

01 論理的な思考と表現力を育てる講義「ロジカルライティング」

理工系学生が苦手意識を持つ文章表現力、プレゼンテーション力を1年次から磨く。

- 02 講義・演習・実験(実習)をセットで学ぶカリキュラム 講義・演習・実験(実習)を繰り返しながら学び、専門分野における基礎力を高める。
- 03 個々の授業にグループワーク・PBL・プレゼンテーションを積極的に導入
- 04 学部共通の学びを経験した後に学科・専門を選ぶ、柔軟なカリキュラム 1,2年次に幅広く学ぶことで学生の興味関心にあった専門分野を選ぶことができる。
- 05 学生の成長を"見える化"して、次の目標を明確化する仕組みを構築 全学的なルーブリック導入等、学修成果の可視化を図る。
- **06** 学生主体の課外活動を積極的に支援、実践力を高める機会に世界一を目指す「ソーラーチーム」等、課外活動にも積極的支援を行う。
- 07 まず海を渡る。本学独自の留学制度「ハイブリッド留学®」 英語に苦手意識を持ち、内向きと言われる学生に海外挑戦に踏み出すプログラムを提供。
- 08 単位認定型のインターンシップで事後の振り返りまでをフォロー 1年次、2年次の低学年インターンシップから3年次インターンシップを単位認定型インターンシップとして実施。
- 09 研究の第一線で活躍する教員が指導する「研究室」

理工系私立大学の中でも有数の充実した研究設備を整えており、実社会に おける先端的な研究を行っている教員による専門教育を指導する。結果として 学生の研究論文に対し毎年数多くの外部表彰を得る。

10 大学で身につけた力や個々の特性を社会で活かすための就職支援

年間を通じた就職・キャリア支援のガイダンスや講座だけでなく、就職支援センタースタッフやキャリアカウンセラーが年間約2,000件の個別面談を行っている。大学・大学院での学びや専攻で身につけた力と、自分の強みや弱みなどを学生自身が理解し、それを活かすことのできる就職を支援することで、大学の学びを社会へとつなげていく。

<就職支援の新型コロナウイルス感染防止対策の主な取り組み>

- ▶オンライン個別相談 (Web、メール、電話での相談)
- ▶オンラインによる講座・セミナー(通常授業とあわせて遠隔授業形式をとる)
- ⇒学校求人情報、インターンシップ情報、先輩就職活動体験記等を学外から も閲覧可能に
- >オンラインによる各種証明書、学校推薦状の申込及び発行

(https://www.kogakuin.ac.jp/career/station.html)